

[テロップ]

「どんな怖さもストーリーで乗り越えられる」

1話 ポール・ドラローシュ『レディ・ジェーン・グレイの処刑』

[オープニングショット]



スクリーンに映し出される一枚の絵。

—— 《レディ・ジェーン・グレイの処刑》。

処刑台に立つ白衣の少女。両脇に沈痛な面持ちの司祭と処刑人。

少女の運命を嘆き、意識を失いかける二人の侍女。

——暗転。

EXT. 砂浜 — 真夏の昼

真夏の砂浜に据えられた木の台。

白ワンピースのジェーン（目隠し）が立ち、キラキラ笑顔。

侍女 A・B はぐったり、日陰に崩れている。

周囲にはスイカの破片が散乱。

ジェーン（元気満タン、目隠しのまま）

「爺！」

司祭（すかさず）

「ここにおります」

ジェーン

「はよ斧よこさんかい。スイカ、まだまだ割るでえ」

侍女 A（うわ言）

「お嬢様！ …もうこれ以上は…」

侍女 B（腹さすりながら）

「もう…スイカ見るだけで胃がキュッてなるんです…」

司祭

「こう申していますが」

ジェーン

「もう一回や」

司祭、脇に立つ赤いズボンの男（斧持ち）へ目配せ。

司祭

「…スイカを」

赤いズボンの男（声を張って）

「おい！」

緑のズボンの男、颯爽とやってくる。

緑のズボンの男

「はい」

赤いズボンの男

「スイカが足りない」

緑のズボンの男、頷き、去る。

司祭、ジェーンの耳元に口を寄せ、そっと囁く。

司祭（ささやき）

「いま、買いに行かせました」

——波音とともに、ゆっくりフェードアウト。

[エンディングショット]

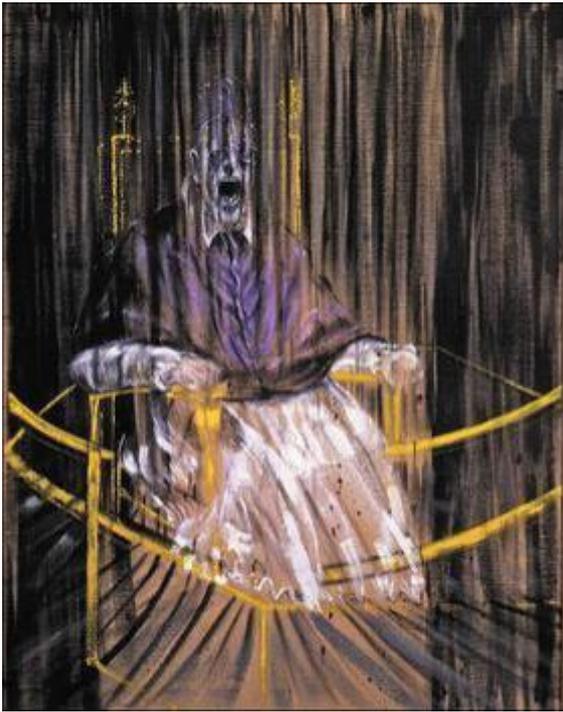


スクリーンに『レディ・ジェーン・グレイの処刑』が再び映ひ出される。

[終わり]

2話 フランシス・ベーコン『ベラスケスの「教皇インノケンティウス 10 世の肖像」に基づく習作』

[オープニングショット]



スクリーンに映し出される一枚の絵。

——《教皇インノケンティウス 10 世に基づく習作》。

暗い檻の中に閉じ込められたような教皇の姿。

顔は歪み、口は大きく開き、声にならない絶叫がこだまする。

——暗転。

EXT. 商業プール施設・滝のプールゾーン — 真夏の午後

人工滝が轟くプールの前。

豪華なビーチチェアに、厳しい顔つきのインノケンティウス 10 世（ラッシュガードと日傘）。

プールなのに威厳フル装備。

下界を見下ろす。

——少し離れた日陰。

オリンピア（インノケンティウス 10 世の義姉）がニヤついている。

オリンピア（ヒソヒソ）

ええ加減あの椅子ごと滝んどこ流したろ思てな。

背後に、ベルニーニ（浮き輪持ち）とベラスケス（スケッチ帳抱え）。

ふたりとも、顔が引きつっている。

ベルニーニ（小声）

いや、あんた…あれワシの仕事の元締めやで？

ベラスケス（小声）

ボクも、あの方に絵頼まれてるとこなんですけど…

オリンピア（静かに）

逆らうん？

——沈黙。

3人、そっとチェアの後ろへ回りこむ。

チェアのロックを外す。

インノケンティウス（気づかず）

この清き水の音は、神の祝福そのものやな。…よし、民よ、もっと泳げ。

——ゴゴゴゴゴ……

ビーチチェアが滑り出し、滝ゾーンへ一直線——！！！！

インノケンティウス

3話 ウィリアム・ブレイク『地獄のダンテとウェルギリウス』

[オープニングショット]



スクリーンに映し出される一枚の絵。

——《地獄のダンテとウェルギリウス》。

裸の男が一心不乱に殺し合う地獄の光景。

不気味な川底で、ねじれた肉体と歪んだ魂がもがき、絡み合う永遠の苦悶。

——暗転。

EXT. 市民プール— 真夏の午後

太陽がキラキラ、子供らがバシャバシャ水しぶき上げる。

海水パンツを履いたダンテとウェルギリウスがプールで浮き輪に寄りかかる。

ダンテ: (浮き輪でゆらゆら)

夏のプール最高やな！ 涼しーわ、リラックスやで…

ウェルギリウス: (ニヤリ)

ダンテ、夏はガチンコや！

ウェルギリウス、水をダンテにバシヤッ。

ダンテ (水をかけ返し)

おい、やめろや！

ダンテ、浮き輪をウェルギリウスに投げる。

ウェルギリウス (浮き輪をキャッチ)

こら。喧嘩売っとるんか？

ウェルギリウス、浮き輪をダンテに投げ返す。

ダンテ、浮き輪を受け損ね、水にドボン。

ウェルギリウスが腹を抱えて笑う。

ダンテ

あかん、プールサイドで勝負や！

ウェルギリウス

おう、やったるわ！

二人がプールから上がる。

二人の海水パンツが水の重さでずり落ち、全裸状態になる。

ダンテ（構わず）

このあほんだらが！

ウェルギリウス（裸で応戦）

ボケが！

ダンテとウェルギリウスが裸でプロレスごっこを始める。

ダンテ、ウェルギリウスの首に甘噛みする。

ウェルギリウス（叫ぶ）

ちょ、くすぐったいわ！ おい！ やめい！

[エンディングショット]



スクリーンに再び《地獄のダンテとウェルギリウスに》が映し出される。

[終わり]

最終話 フランシスコ・デ・ゴヤ『我が子を喰らうサトゥルヌス』

[オープニングショット]



スクリーンに映し出される一枚の絵。

——《我が子を食らうサトゥルヌス》。

狂った目。血に染まる指。

自分の子をむさぼり食う、異様な老神。

——暗転。

EXT. 夏のビーチ - 真昼の灼熱

ファミリーや若者たちでごった返す関西の海水浴場。

その一角、サトゥルヌス（中年男）がポータブル BBQ グリルの前で、

チキンの丸焼きをゆっくり回している。

焼けた皮膚、つるんとした丸い頭。

それはどこか、手足を縮めた子供のように見える。

——少し離れた海から声が飛んでくる。

ゼウス（少年）

「父ちゃん！ 焼けたか?!」

サトゥルヌス

「ええ具合やぞ〜！ 先に味見しといたろか〜？」

——サトゥルヌス、無骨な手で丸焼きチキンを掴み、頭にかじりつく。

ガリッ、バリッ。

焦げた皮の香りと、肉を裂く音。

ゼウス

「ワイの分、ちゃんと残しといてやー！」

——そのあたりにいた若者たちがスマホを取り出し、ざわつく。

若者 A

「見て見て、なにあれ…子供食うてるみたいやん」

若者 B

「マジでグロいって。動画撮ろ、インスタいけるわ」

——パンヤ。

——その瞬間。

海のほうで悲鳴が上がる。

サトゥルヌスが振り向く。

巨大な鯨がゼウスを飲み込もうとしている。

バシャン！！

——飛びかかった鯨が水柱が上がる。

——ゼウスの姿が消える。

[エンディングショット]



スクリーンに再び《我が子を食らうサトゥルヌス》が映し出される。

[終わり]

画像引用元

<https://ja.m.wikipedia.org/wiki/%E3%83%AC%E3%83%87%E3%82%A3%E3%83%BB%E3%82%B8%E3%82%A7%E3%83%BC%E3%83%B3%E3%83%B%E3%82%B0%E3%83%AC%E3%82%A4%E3%81%AE%E5%87%A6%E5%88%91>

https://en.m.wikipedia.org/wiki/Study_after_Vel%C3%A1zquez%27s_Portrait_of_Pope_Innocent_X

https://en.m.wikipedia.org/wiki/Dante_and_Virgil

<https://ja.m.wikipedia.org/wiki/%E6%88%91%E3%81%8C%E5%AD%90%E3%82%92%E9%A3%9F%E3%82%89%E3%81%86%E3%82%B5%E3%83%88%E3%82%A5%E3%83%AB%E3%83%8C%E3%82%B9>